

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



← 以前の養蚕作業風景
まゆのまがらみ

蚕影山移転法要について

龍源寺が創建されたのは、今から約380年ほど前の江戸時代、
正保3年（1646）だと伝えられております。それ以前よりここ多胡地区は養蚕の先進地域でありました。そこで、お蚕の供養と養蚕の発展とその恩恵に対する報恩の祭礼がこの蚕影山のお祭りでありました。特に富岡製糸工場が建てられ、生糸の輸出が飛躍的に伸びた明治期では、龍源寺といえは蚕影山と云われるほど有名であり、遠くは甘楽富岡地区より信者が訪れ、盛会であったと伝えられております。

翻って現在、養蚕を行う農家はほとんどいなくなり蚕影山のお祭りも地元多胡特に松田地区の人々により細々と続けられておりました。また、蚕影山本殿も老朽化が激しく、三十世の住職交代を機に当寺役員会の議決を経て、本尊さまを龍源寺本堂に合祀することと相成りました。

今年4月29日の移転法要を機に、多胡地区の恒例の祭礼であった蚕影山のお祭りを以降龍源寺の施食会と併修し、修行していく予定です。

蚕と養蚕と多胡地区は切っても切れない縁と歴史があります。そのことを檀信徒及び多胡地区の皆様にご理解を仰ぎ、蚕影山大権現様とご先祖様に感謝と報恩のご焼香を頂いた次第です。

来年度以降は龍源寺にて蚕影山を維持管理していく所存です。宜しくお願い申し上げます。

また、この法要に際しまして、檀信徒の方はもとより、近隣の御寺院様や講談師・小金井師匠、お手伝いの方々など多数の皆様にご協力・ご支援を頂きました。この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。



新しく修復を行った「蚕影山宮殿」

平成15年 龍源寺年間行事予定

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3~1/4 年始挨拶
- ※2/3 節分会
- ※2/15 涅槃会
- ※3/9 大般若・大施食会
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春彼岸
- 3/23 蚕影山大祭
- ※4/8 花祭り
- 4/29 大施食会法要
- 7/12~7/16 県外檀信徒棚經
- ※7/23~7/24 子供禪の集い
- 8/13~8/16 お盆
- 9/20~9/26 秋彼岸
- ※12/8 成道会
- ※12/31 除夜祭
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定期坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室
- ※は本寺仁叟寺にて開催

総代人交代

龍源寺の総代人は現在3名（宇佐美源吾総代長（多胡）、金井淳太郎（矢田）、田端良作（多比良）各総代人）の方々に委嘱しております。その総代人の金井淳太郎氏が健康上の理由をもちまして、退任することとなりました。後任には同じ矢田地区より、小林茂氏を当寺より委嘱させて頂きま

した。

金井総代人は、多年に亘り役員、総代人を務めていただきました。当寺として厚く御礼を申し上げる次第です。

また、新任の小林茂氏は、地区の結婚相談員など地域社会にも広く貢献しております。これからのご活躍をご祈念申し上げ、また当寺のために尽力していただくことを願っております。

また、金井淳太郎氏から小林茂氏への総代人交代式は、当寺毎年恒例の施食会の席上にて、委嘱状及び功勞・就任記念品の贈呈と各氏の挨拶を賜り併せまして行われました。紙上にてご報告いたします。

仁叟寺通信-5-

- ①上左
- ②上右
- ③下左
- ④下右

今回は写真の紹介です。

除夜会と節分会の様子。その雰囲気と熱気が伝わって頂ければ、ありがたいです。

①除夜会でのミニ・コンサート

②除夜会で幻想的にライトアップされた仁叟寺山門

③節分会での抽選会。

文殊堂前の賑わいです。

④願いを込めて、煩惱を打ち払う



龍源寺探索-4-



↑ 撤去が決定した蚕影山本殿

前号でお伝えしたとおり、蚕影山本殿の老朽化及び蚕影山本尊様の本堂御移転に伴い、同本殿の撤去が決められました。跡地には、「蚕影山之跡地」の石碑を建立する予定です。

同本殿は杉建築で前住職大頭啓司代での建立。ただし、蚕影山の例祭は江戸期より今の場所で行われていました。一時期、明治時代に本殿を山の下に移転した

ことがありましたが、龍源寺火災など不慮の事故が続いたため、再度元の場所に戻ったという経緯もあります。

巻頭でも記したとおり、長く続いた蚕影山法要も幕を閉じます。その本殿はなくなりますが、これまでの歴史・経過は後世まで伝えていくことが重要です。記念の碑を建立する前に、機会がありましたら当寺の蚕影山まで是非ご参詣ください。

住職婚約

当寺及び仁叟寺の施食法要の席上、紹介もいたしましたゆえ、既知の方もいらっしゃるかもしれませんが、この度縁あって神奈川県藤沢市の佐藤玲子さんと結婚する運びとなりました。玲子さんは26歳で藤沢市に在住。日本女子大学人間社会学部を卒業後現在、医療法人若林会の在宅介護支援センターに勤務しております。福祉士の国家資格も取得しており、同支援センターに於いても、社会福祉士として在籍中。当寺及び仁叟寺も、参拝旅行や慰霊祭、寄付などで吉井町や高崎市の福

婚約者紹介

さとう れいこ
 氏名：佐藤 玲子
 住所：神奈川県藤沢市
 年齢：26歳
 職業：介護相談員（医療法人若林会）
 学歴：日本女子大学人間社会学部卒業

祉施設と関係が深いゆえ、これからの活躍も期待されるところです。

私事で恐縮ではありますが、婚約は去る3月30日（日）に、東京都内のホテルにて、仲人外園豊基早稲田大学教授夫妻を請い、結納の儀と併せて執り行いましたこと、報告いたします。また、結婚式は今年9月28日（日、大安）

に、仁叟寺本堂に於いて挙行する予定です。

住職もそうですが、まだまだ若く人生経験が浅く未熟な2人です。檀信徒の皆様を始め、関係者各位におかれましては、宜しくご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



そくしんかい

即真会発足

曹洞宗大本山總持寺（神奈川県横浜市鶴見区鶴見）の安居（修行の意味）者の同期会が今年2月に発足いたしました。板橋興宗前曹洞宗管長様の命名で「即真会」という名称に決定。会員は北海道から鹿児島まで全国津々浦々の若手僧侶約90人。不肖ながら私は、同会の役員を拝命いたしました。

住職は平成11年3月に大本山總持寺に上山。以来、平成13年3月までの2年間に亘る修行生活を



← 第一回総会の集合写真

送らせて頂きました。その経験はもちろんのこと、同じ釜の飯を食った仲間というのは大変貴重でありありがたい存在であります。各自の予定や地理的、経済的なコトもありますのでそん

なに頻繁には活動いたしません、同会の隆盛のため微力を尽くす所存であります。

平成14年度寄進者一覧(敬称略、順不同)

宇佐美源吾 (多 胡)	為 三十世晋山結制記念	龍源寺弓張提灯
金井淳太郎 (矢 田)	為 三十世晋山結制記念	本堂掲示板レール
田端 良作 (多比良)	為 三十世晋山結制記念	同
出牛 裕一 (多 胡)	為 三十世晋山結制記念	
	為 雪岳幸照居士一周忌供養	緋大衣 (夏用・冬用)
白田 庄次 (東 京)	為 白田庄次家永代供養	両祖彩色木像
高橋 とき (長 根)	為 一閃登龍信士一周忌供養	本堂座褥
吉田宇四郎 (南陽台)	為 三十世晋山結制記念	本堂拜敷
小池 光江 (小 串)	為 三十世晋山結制記念	
	為 小池家石塔開眼記念	黒御影石製大香炉
平成14年度新盆各家一同	為 各家新盆供養	本堂常華一対



↑ 両祖彩色木像



← 本堂常華一対

龍源寺弓張提灯↓



本堂座褥→

← 本堂拜敷



行雲流水(編集後記)

除夜会、節分会、涅槃会、大般若会、花祭り、蚕影山移動法要と行事が目白押しでしたが、何とか春号をお届けすることができました。桜の花も若葉に変わり季節も一日一日と夏が近づいて来るように感じられる今日この頃でございます。

また、金井前総代人さん、

長い間どうもお疲れ様でございました。寄付者一覧などを見ましても分かる通り、こういった檀信徒の皆様とその御縁に支えられて、龍源寺が護持運営されていると思ひますと感慨深い気持ちで一杯であります。改めて感謝申し上げます。次第。

編集人 住職 渡辺龍道



春の風物詩『タケノコ』(昨年)